



観音寺市を改めて見渡すと、今後のまちづくりに生かしていきたい素材にあふれていた。

まず、自然環境は海あり山ありで、有明浜や豊稔池、恋人の聖地に認定されている一の宮公園など風光明媚なスポットも豊富。農業、漁業が盛んで、イリコやレタス、ナシなど特産品も多い。移住就農者が他地域に比べ多く、産業構造のバランスがいい点も特徴の一つだろう。

市の歴史は古く、四国霊場で唯一の「一山二霊場」の神恵院と観音寺がたたずみ、イリコの島の

伊吹では「島四国」が息づき、島の子どもたちは今、遠距離を旅するチョウ「アサギマダラ」の飛来地にしようと頑張っている。

銭形砂絵がある市で起きた「金運ブーム」は続き、大野原古墳群は国史跡に指定され、古墳群を生かした地域おこしも始まった。「音を観るまち」では音楽だけでなく、さまざまな文化活動が繰り広げられており、その殿堂の市民会館も昨春にオープンした。また、最近ではアニメの聖地としても全国からファンが訪れている。もちろん、絢爛